

審 査 決 定 報 告 書

公営企業会計決算特別委員会

令和7年第3回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました認定第2号（令和6年度水戸市公営企業会計決算認定について）の審査の経過及び結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

当委員会は、第1回委員会を9月1日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長を滑川友理、副委員長を渡辺欽也委員に決定しました。

続いて、9月16、17、18日にそれぞれ委員会を開催し、提出された決算書及び審査資料を中心に、種々質疑応答を行うなど、その内容について慎重に審査を行った後、採決の結果、認定第2号は、賛成多数をもって、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の審査を通じ、今後の市政運営上留意すべき事項として各委員から出された主な意見は、次のとおりであります。

審 査 意 見

1 水道事業会計について

- (1) 人工衛星画像にAI解析を活用する漏水調査の実施など、今後も有収率のさらなる向上に努められたい。
- (2) 徴収業務受託者と連携強化を図り、引き続き、未収金の滞納整理を積極的に実施するとともに、使用者負担の公平性の視点から、不納欠損処分は厳正に対処されたい。また、口座振替新規申込キャンペーンを効果的に行い、収納率の向上を図られたい。
- (3) 令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、基幹管路における耐震適合率の数値目標達成に向け、着実に耐震化への取組を推進されたい。
- (4) 法定耐用年数を越えた水道管路が増加する中、アセットマネジメントに基づき、水道管路の重要度・優先度を明確化し、効果的な水道管路の更新に取り組まれたい。
- (5) 災害時を想定した応急給水訓練については、引き続き、全地区で毎年実施できるよう努めるとともに、参加者を増やす方策を検討されたい。

2 下水道事業会計について

- (1) 経営の健全化に向け、企業債の発行を抑制するなど、引き続き一般会計からの基準外繰入金縮減に努められたい。

- (2) 水戸市浄化センターの消化ガス発電システムは，温室効果ガスと電力料金の削減に効果的であることから，引き続き適切な維持管理を行い，発電効率の維持向上を図られたい。
- (3) 水洗化率の向上に向け，市の補助制度の丁寧な周知・広報に努められたい。
- (4) 大工町における陥没事故の本復旧に着実に取り組み，市民の安心につながるよう，適宜進捗状況を周知されたい。
- (5) 下水道管路の老朽化については，ストックマネジメント計画に基づき，重要度・緊急度に応じた対策を講じられたい。また，日常点検の強化に努めるとともに，市民からの情報提供等に迅速に対応できる体制を構築されたい。
- (6) 農業集落排水処理施設の公共下水道への接続時期を考慮しながら，当該施設の計画的かつ効率的な老朽化対策を実施されたい。

3 共通の事項について

- (1) 技術継承・人材育成の観点から，外部委託とのバランスを十分に考慮し，今後も継続的かつ安定的な運営がなされるよう，組織体制の強化を図られたい。
- (2) 国の補助制度の活用や先進自治体の調査研究等を行い，財政バランスの取れた運営に努められたい。

上記のとおり報告する。

令和7年9月22日

水戸市議会議長 松本勝久様

公営企業会計決算特別委員会
委員長 滑川友理